

第1回 京丹波町地域福祉計画推進委員会 議事概要

日時：令和7年12月18日（木） 午後2時40分～午後3時30分

場所：京丹波町役場1階 防災会議室

出席者：皆見委員、山田委員、谷山委員、山本副委員長、谷口委員長、入江委員、原田委員
（7人）

欠席者：山下委員、片山委員、明田委員、若松委員、太田委員、塩田委員（6人）

事務局：健康福祉部：中川部長

健康福祉部子育て支援課：保田課長

健康福祉部福祉支援課：原澤課長、堀補佐、上田主査、橋本主事

株式会社ぎょうせい 伊藤氏

1. 開会（原澤課長の司会により進行）

・谷口委員長 開会のあいさつ

成年後見制度の会議に引き続きお世話になります。地域福祉計画は平成29年度から令和8年度までの10年間の計画で、第2期計画策定のためのアンケートも始まって来る。色々と意見を出していただいて、良いものにできたらと思うのでご協力よろしくをお願いします。

2. 自己紹介

事務局のみ自己紹介。

3. 協議事項

（1）京丹波町地域福祉計画の進捗について

・配布資料の確認

・「京丹波町地域福祉計画概要版」、資料1「地域福祉計画のうちアンケート調査結果以外を目標とするものの状況」について説明。

委員からの意見なし

（2）第2期京丹波町地域福祉計画の策定について

・資料2「第2期京丹波町地域福祉計画の策定について」について説明。

委員からの意見なし

（3）京丹波町の現状について

・資料4「京丹波町の現状」について説明。

委員長 高齢化率について、和知地区が50%を超えている。

(4) アンケート調査票(案)について

- ・資料3「京丹波町 地域福祉に関するアンケート調査のお願い」について説明。

委員 回答者の性別の選択肢が「1. 男性、2. 女性」の2択となっている。近年は男性、女性以外の選択肢が設けられていることも多いと思うが、いかがか。

ぎょうせい 他の自治体の事例でも、「3. こたえたくない」等の選択肢を設けることが増えている。

事務局 経年比較等の分析において問題ないようであれば、選択肢を追加したい。

委員 対象者について、「18歳以上の方から無作為」とあるが、丹波・瑞穂・和知と地区ごとに状況が異なるなかで、対象となる1,500人は地区の人口比に応じて分けることを考えているのか。もしくは町全体とし実施するのか。

事務局 前回は対象者3,000人で実施するにあたり、地区に偏りがないよう各地区1,000人ずつに配付した。3,000人の配付を維持するのが難しく、今回は半数に減らしているが、各地区500人ずつに配付するのは難しいと感じている。アンケートの技術的な面も含めて検討したいと思うが、人口比率等で影響がないような抽出を行いたいと考えている。

(5) その他

事務局 地域福祉計画は福祉の上位計画であり、総花的な計画であるため意見が出しにくいと思う。成年後見制度の協議の中でも、少子高齢化が課題としてあがっていたが、少子高齢化や人口減少に地域福祉としてどう対応していくかがテーマになるのではと考えている。
アンケート調査の実施は来年となり、配布までまだ時間があるため、お気づきの点があればお知らせいただきたい。

4. 閉会

- ・山本副委員長 閉会のあいさつ

社会福祉協議会に平成13年に入職し、当時に比べると少子高齢化や地域の繋がりの希薄化を感じる。第1期の計画が策定された平成29年に比べると地域の状況も変わっており、アンケートについては今の現状が加味された結果がでてくると思うので、それに合わせた計画を進めていただきたい。

以上